富士山吉田口登山道保存と活用のための活動計画〈概要版〉

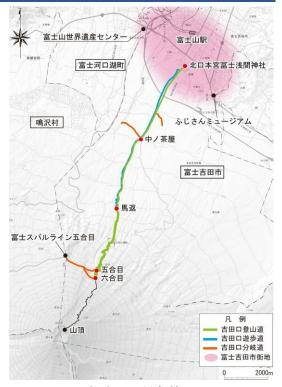
1. 富士山吉田口登山道保存と活用のための活動計画とは

吉田口登山道は、北口本宮冨士浅間神社を起点とし、富士山頂の東部にある久須志神社に至る登山道であり、現在富士山の山麓から山頂まで徒歩で登山できる唯一の道です。

昭和39(1964)年に富士スバルラインが開通し、車両を利用することで、 市街地から五合目駐車場まで短時間で登れるようになり、その結果、北口本宮冨士浅間神社から五合目までの区間を歩く登山者数が激減しました。 沿道の山小屋は営業を維持できなくなったことで空き家化し、維持管理がされなくなった建物や神社、石造物等は損壊・消失しました。

吉田口登山道は、それ自体が個別に文化財指定を受けておらず、これまで吉田口登山道を保存しつつ活用を促進させながら将来に渡って継承していく視点が不足していました。喫緊の課題として、歴史的・文化的価値を持つ様々な要素を一体的に保存・活用するのに資する整備を行うための具体的な事業計画の策定が必要でした。そこで、国や山梨県、その他関係機関と協力・連携しながら、本市が主体となって富士山の普遍的価値を後世に継承し、快適な登山道を整備するため、「富士山吉田口登山道保存と活用のための活動計画」を策定しました。

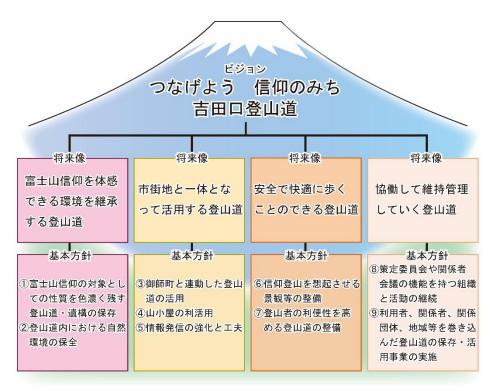
本計画の計画期間は令和7(2025)年度から令和16(2034)年度までの10年間とし、令和11(2029)年に中間見直しを図るものとします。



本計画の対象範囲

2. ビジョン・将来像・基本方針

国や山梨県をはじめとした様々な主体が一体となって、富士山の普遍的価値を後世に継承し、快適な登山道を整備するため、以下のビジョンと4つの将来像を定めます。ビジョンと将来像を実現するため、9つの基本方針を設定し、それに基づいて事業計画を実施します。



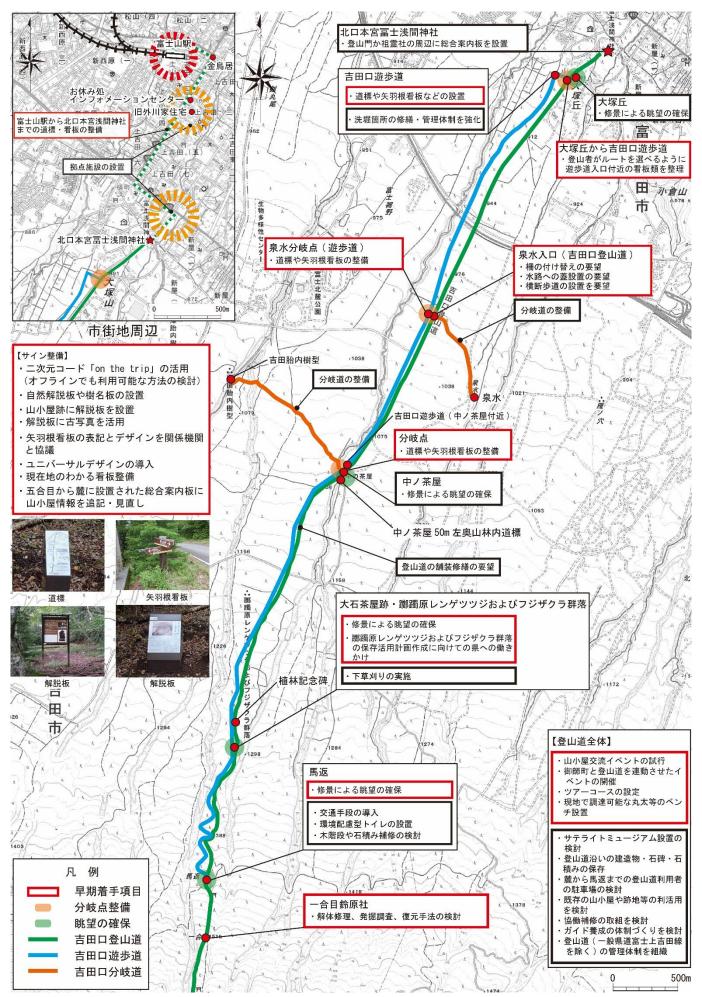
ビジョン・将来像・基本方針の関係性

3.事業計画

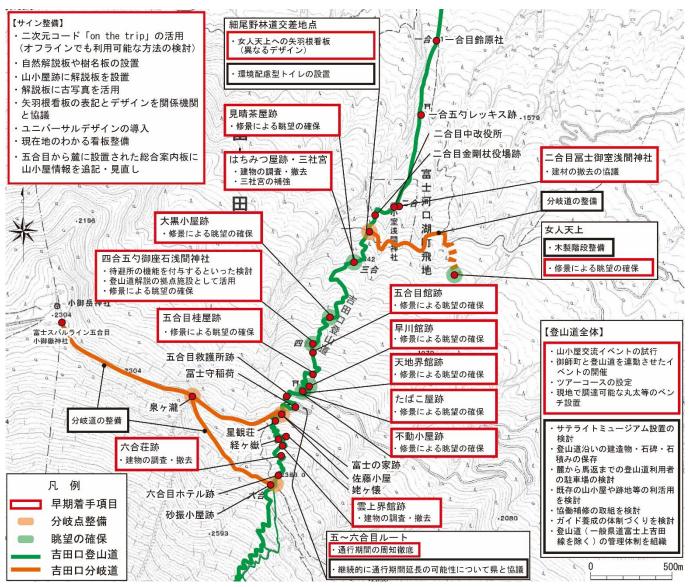
本計画は、本市が主体となり、国や山梨県、関係機関と協議・検討したうえで表中の項目及び右記整備計画図の項目を事業化いたします。なお、整備計画図の赤枠は、本計画の基本方針に記載する事項の成果を得るため、令和11 (2029)年度までの5年間に関係機関等との協議・検討を進め、早期着手を目指すものです。

	主な協議先			実施時期(目安)									
実施方針	行政機関	団体等	所有者	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
保存計画の例													
三合目三社宮と五合目たばこ屋跡地にある稲荷社は、倒壊させないよう所有者等と協議を行い、補強を行います。	0		0										
「躑躅原レンゲツツジおよびフジザクラ群落の保存活用計画」 作成に向け、管理団体である山梨県へ働きかけを行い、レン ゲツツジおよびフジザクラ群落の回復および保全を推進しま す。	0												
活用計画の例		_	1	ı	ı	ı	1	1	1	ı	1		
御師町と登山道を連動させたイベントの開催を目指します。	0	0	0										
多様な利用者同士が山小屋で交流するイベントの試行を目 指します。	0	0	0										
登山道にある石碑群や自然、動物、浸透桝等、登山道に関する様々な情報を周知する手段を検討します。	0	0	0										
整備計画の例													
一合目鈴原社は、所有者である北口本宮冨士浅間神社と協議し、解体修理や減築、復元を視野に入れた発掘調査の実施、復元整備の手法について検討します。	0	0	0										
四合五勺御座石浅間神社は、建造物として規模が大きく、維持管理が難しいため、神社としての空間を残し、規模を縮小させ、待避所としての機能を持つ場所として整備することを検討していきます。	0	0	0										
県有地内では、山梨県のおもてなし森林景観創出事業を利用し、山小屋跡をはじめとした滞在拠点からの眺望を確保します。													
【修景候補地】 大石茶屋、馬返、女人天上、見晴茶屋(三合目)、大黒小屋 (四合目)、四合五勺御座石(四合五勺)、五合目館跡~不動 小屋周辺(五合目)	0	0	0										
運営体制の整備計画の例		•	•	,									
吉田口登山道における保存と活用について、継続的な協議が行えるよう「吉田口登山道連絡協議会(仮)」を組織します。	0	0	0										
登山道周辺の景観を維持するため、登山道(一般県道富士 上吉田線)以外の草刈り等定期的な管理を行う体制を組織します。	0	0	0										
資金計画													
当該計画における事業は、公益財団法人 粟井英朗環境財団環境保全支援事業寄付金を原資として実施します。													
上記の寄付金以外として、クラウドファンディングにより資金の 確保を行います。													

〇市街地からの整備計画図



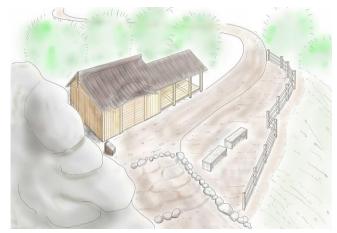
北口本宮冨士浅間神社から一合目鈴原社まで



二合目冨士御室浅間神社から六合目まで



一合目鈴原社 イメージ図



四合五勺御座石浅間神社 イメージ図

富士山吉田口登山道保存と活用のための活動計画〈概要版〉

令和7年(2025) 3月 発行 発行・編集 富士吉田市教育委員会歴史文化課 〒403-0032 山梨県富士吉田市上吉田東七丁目 27-1 TEL 0555-24-2411 / FAX 0555-24-4665